

# 特別委員会報告

## 競馬事業調査 特別委員会

3月18日の委員会では、市長はじめ担当職員が出席し、「平成24年度の開催状況について」「平成25年度のレース開催等競馬事業の内容について」「地方競馬全国協会1号交付金の猶予後の支払計画について」「震災による復旧

工事費の支払等について」「資産状況について」「岩手競馬経営の将来方向検討会議の現在の状況について」「馬主条件の緩和について」を調査しました。

平成24年度の岩手競馬は通常開催を1月に終え、年間収支見通しによる当期利益は8000万円程度となる見込みです。

平成26年度に実施が決定したJBCの3競走の施行に向け岩手競馬の盛り上げの醸成を図り、またJRAファンにもIPA T発売で岩手競馬を多く楽しんでもいただけるよう基幹競走の充実や情報発信の強化、発走



躍動感のある走りに熱い声援を!!

時刻の工夫などを行い購買環境の整備を図っていきたいとのことでした。

## 東日本大震災 調査特別委員会

3月18日の委員会では、市長はじめ担当職員

地区衛生センターにおける災害廃棄物の処理状況について」を調査しました。

牧草地除染の進捗は播種完了までが53・0%となる中、暫定許容値を超える圃場も確認されています。共同仮置場設置

については、区ごとに候補地説明会を行っておりませんが、住民合意に至っていない状況にあります。また、損壊家屋解体

撤去事業については、99%完了済みで、残り1件2棟については関係機関と協議し実施予定であります。

山菜類の出荷制限の解除や牧草として使用している畦畔草の取り扱いについて、明確な基準を示すよう関係



平成24年8月に実施した阿原山牧野除染作業

機関に対し意見書を提出することになりました。

## 議会改革は、自分改革!

「流山市議会が議会改革ランキングで全国1位になった理由」

市議会市政調査会（会長・菊池嘉穂議員）は3月27日に、千葉県流山市議会の松野豊議員を講師に迎え「議会改革に関する講演会」を開催しました。

流山市議会は平成21年3月に議会基本条例を制定し、その後スマートフォンによる電子採決システムの導入や市議会公式のフェイスブックページの開設、書類のペーパーレス化による議員・職員へのi Padの配給など全国に先駆けて取り組み、情報公開度・運営改善度が全国1位となっております。その反面、

住民参加度が12位にあることから、「見られる議会」から「見たくなる議会」への変革」が必要と考え、更なる

仕掛けづくりを積極的に考案してありました。

政府や自治体が保有する公共データを、インターネット上に公開し、企業や団体などが二次利用して新たな住民サービスを創出するという「オープンデータ」への取り組みが米国や欧州を中心に加速しており、オープンガバメント（政府の透明化による市民参加促進）の考え方や事例なども学びました。



松野豊 流山市議会議員